

【6月5日（金）避難訓練のお話】

今日の天気予報では、最高気温が30度を超える大変暑い日になるという予報でした。しかし、避難訓練はみなさんの命を守るための大切な行事で、特に1年生は草平小学校での避難訓練を経験したことがありませんので、暑い中ですが訓練を実施しました。

今日は、草平小学校の給食室で火災が発生したという訓練です。今日の訓練の目的は、「火災が起きたときに安全に避難する方法と避難経路を覚えること」でした。

新しい学年・クラスからの避難経路は、しっかりと覚えられたでしょうか。

避難の指示が出て、290名の出席者全員の安全確認ができるまでの時間は、4分28秒でした。実際には、4分以内には全員の避難が完了していたと思います。

みなさんは、私語をする人もなく、迅速に避難ができ、本当に素晴らしいと思いました。休み時間や掃除など、先生が近くにいない状況でも、今日のようにきちんと行動できるとよいと思います。

今日は、火災による避難訓練でしたが、最近の日本は北海道から沖縄まで、いろいろな場所で震度4程度のやや強い地震がたくさん起きています。震度1程度の地震は、毎日数回から何十回も起きています。

私たちが住んでいる地域も、かなり高い確率で30年以内に巨大地震が起きると言われています。それは、何十年後かもしれませんし、今日かもしれません。

学校にいるときは先生が、家にいる時は家族が一緒なので、少しは安心ですが、登下校の時、友達と遊んでいる時、一人で寝ている時だとしたらどうでしょう。

それでも、いつ、どんな時でも「自分の命は、自分で守る」ことが大切です。学校ではその勉強を避難訓練などを通して行っています。

その中で大切なことは、「お・は・し・も」です。特に、「し」の「しゃべらない」を守れないと、避難するのに大切な情報を聞き取ることができません。それはしゃべらずに守っている友達も同じです。自分の命を守れないだけでなく、人の命を奪うことにも繋がりがねません。

本当に火事が起きたり、地震が起きたりしたら、きっとあわててしまうでしょう。でも、避難訓練で学んだ「お・は・し・も」をしっかりと思い出して、今日の訓練のように落ち着いて行動して、自分の命も友達の命も守れるようにしましょう。

校長先生のお話を終わります。